

鉄道技術推進センターの活動

Activities of Railway Technology Promotion Center

概要

鉄道技術推進センターは、鉄軌道事業者、鉄道関連企業などの各社が協調・連携し、会社や技術分野の垣根を超えて共通する技術課題を解決するための場として、平成8年（1996年）7月に設立されました。

全国の鉄軌道事業者、鉄道関連企業などの皆様と協働し、「技術力の維持・向上」「技術の体系化と課題解決」「技術情報サービス」に関する活動を展開しています。

会員数（2019年5月現在）

| | |
|----------------|-----|
| 第1種会員（鉄軌道事業者等） | 186 |
| 第2種会員（鉄道関連企業等） | 186 |
| 第3種会員（学校等） | 12 |
| 計 | 384 |

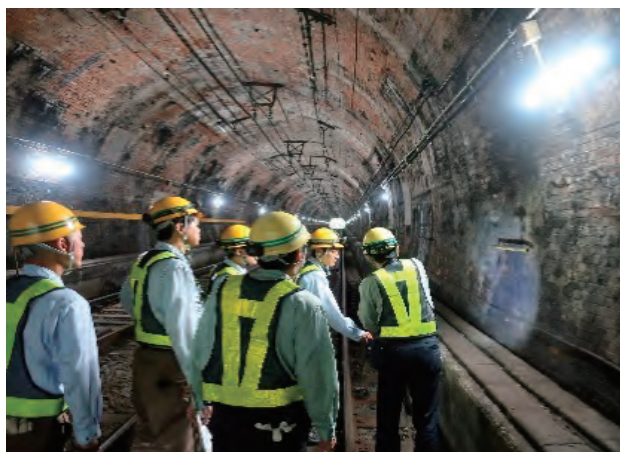
主な活動内容

技術力の維持・向上

■技術支援活動

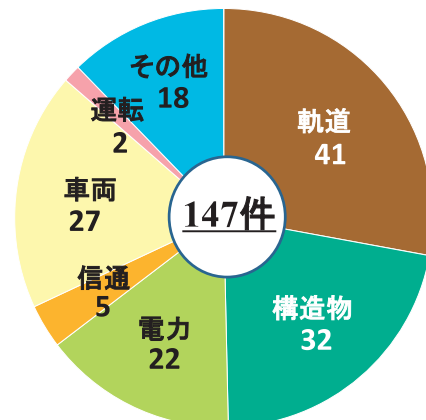
会員の皆様が抱える鉄道技術に関する課題（疑問、悩み）等を解決するための技術支援活動を行っています。2018年度は、147件（現地調査37件含む）の相談に対応致しました。

特に重点をおいた地域鉄道への技術支援については、現地調査等が15社17件、文献・研究室の見解等の提示が35社58件でした。



レンガ積みトンネルの維持管理方法に関する現地調査の様子

| | 現地調査等 | 文献・研究室の見解等の提示 | 計 |
|------------|--------|---------------|---------|
| 地域鉄道事業者 | 15社17件 | 35社 58件 | 38社 75件 |
| 大手、公営事業者 | 16社20件 | 17社 44件 | 24社 64件 |
| コンサル、メーカー等 | — | 5社 8件 | 5社 8件 |
| 合計 | 31社37件 | 57社110件 | 67社147件 |
| 29年度実績（参考） | 29社37件 | 60社 95件 | 74社132件 |



分野別技術支援の実施件数

<2018年度における技術支援の実施状況>

技術力の維持・向上

■講習会の開催

2017年度に引き続き、国土交通省と連携し、「鉄道橋りょう等の維持管理に関する講習会」を全国5地区で開催し、延べ157名の方にご参加いただきました。

■鉄道設計技士試験

鉄道技術者の鉄道設計業務を総合的に管理できる能力を証明する資格試験を、毎年1回、鉄道土木・鉄道電気・鉄道車両の3分野について実施しています。



鉄道橋りょうの維持管理講習会の様子
(仙台会場)

技術の体系化と課題解決

■技術基準の原案作成と設計ツールの整備

鉄道構造物等の設計・維持管理に関する技術基準の原案（国からの委託）、実務者向けの設計ツール等を作成しています。

【2018年度の成果物の例】

- ・鉄道土木構造物の健全度の判定手引き
(橋りょう編)

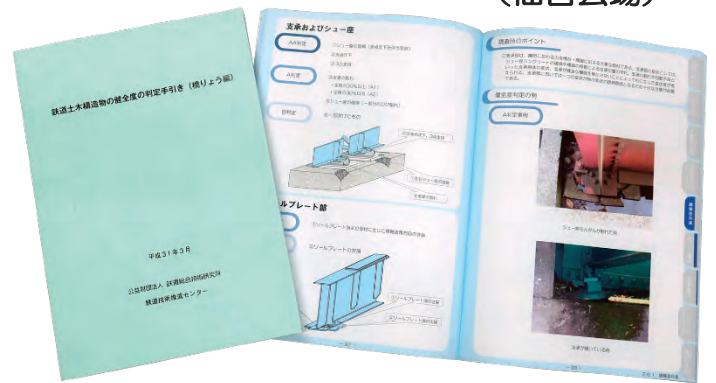
- ・S型弾性まくらぎ直結軌道用コンクリート道床の設計・施工の手引き

■技術課題に対応した調査研究

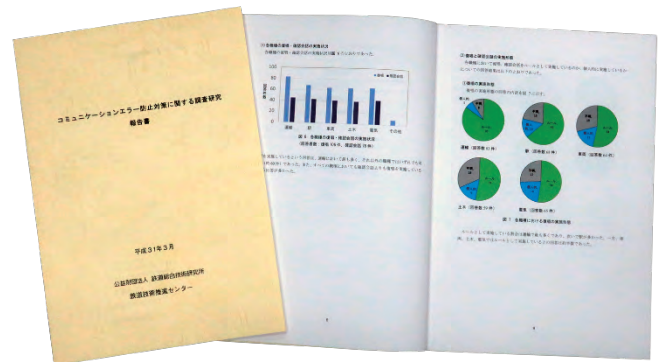
会員に共通する技術的課題を選定し調査研究を実施しています。

【2018年度の成果物（報告書）の例】

- ・レール波状摩耗の管理及び抑制手法に関する調査研究
- ・コミュニケーションエラー防止対策に関する調査研究
- ・地方鉄道における閉そく方式に関する調査研究



鉄道土木構造物の健全度の判定手引き
(橋りょう編)



コミュニケーションエラー防止対策に関する
調査研究報告書

技術情報サービス

■会員用ホームページ

会員用ホームページを通じて、電子図書館システム、鉄道安全データベースおよび推進センターの成果物等を提供しています。また、携帯端末等からもアクセスが可能な会員用ホームページライトおよび公開ホームページも提供しています。

■鉄道安全データベース

個別の事故やインシデント等に関する情報、運輸安全委員会が公表する報告書等の検索・閲覧が可能な他、集計機能が付加されています。

推進センターホームページの種類

| コンテンツの種類等 | 公開ホームページ | 会員用ホームページライト | 会員用ホームページ |
|------------|------------|--------------|-----------|
| 電子図書館 | — | ○ | ○ |
| 鉄道安全データベース | — | — | ○ |
| センター成果物 | 概要 | 全文 | 全文 |
| 講演会資料 | 概要 | 全文 | 全文 |
| 技術支援窓口 | — | ○ | ○ |
| センター報(隔月) | ○ | ○ | ○ |
| 接続方法 | ID・パスワード不要 | ID・パスワード要 | 専用プログラム要 |
| 接続箇所 | どこからでも可能 | どこからでも可能 | 登録端末のみ |